

9/15 宮崎トヨさん、100歳おめでとう！

宮崎トヨさんが9月12日に満100歳を迎えられ、同15日に、宮崎さんが入所している介護老人福祉施設「ロータス音更」にて、祝い状の贈呈式が行われました。

ご家族や施設の入所者らが宮崎さんのご長寿をお祝いする中、千葉副町長から宮崎さんへ祝い状と祝い金が贈呈されました。合わせて、平成28年度に満100歳を迎えられる方を対象とした、内閣総理大臣からの祝い状と銀杯も贈呈されました。

祝い状を受け取った宮崎さんは「ありがとうございます。大病もせず穏やかに暮らしています」と語ってくれました。



9/17 ゴミ拾い、スポーツで楽しく～第1回スポーツゴミ拾い大会～



上士幌町体育連盟主催の「第1回スポーツゴミ拾い大会」が開催され、町内から7チーム35人が参加しました。

スポーツゴミ拾いとは、通常のゴミ拾いにスポーツの要素を加え、参加者が拾ったゴミの量や種類などを競う競技です。まちを美化するだけでなくスポーツ特有の達成感や爽快感を味わえるのが特徴です。

今回は60分の制限時間でポイント制により順位を決定し、7チームで約67kgものゴミを拾うことができました。参加者らはゴミを探して町内を歩くことで、心地よく運動する機会にもなりました。



9月24日 町民マラソン大会



9月20日 上士幌神社秋季例大祭



9月28日 交通安全旗波作戦

9/13 修学旅行先でまちをPR、小学生を観光大使に任命

上士幌小学校にて、町内小学校3校の6年生が『上士幌町観光大使』に任命されました(写真上)。

任命式では、竹中町長より6年生を代表して松本さんと船木さんに任命書が手渡され、「町長に代わって上士幌町を宣伝してほしい。まちの魅力はさまざまあるが、一人ひとりが持つ想いを伝えてほしい」と激励しました。

松本さんは「特にスキー場などの冬の上士幌について、しっかり考えたことをラジオで伝え、上士幌にいろいろな人に来てもらえるようにしたい」。船木さんは「ナイタイ和牛やアイスクリームなどの美味しいものをPRして、上士幌の良いところをたくさん伝えたい」とそれぞれ意気込みを話してくれました。

9月29日、任命された児童たちは、上士幌町をPRするため、修学旅行先の札幌でラジオ出演(同下)や観光パンフレットの配布を行いました。



9/28 大人も子どもも楽しく対戦～ふれあい囲碁教室～

9月28日、ピザとワインの店パピリカにて、ふれあい囲碁教室が開かれました。講師にプロ囲碁棋士の安田泰敏さん(九段)を招き、囲碁を知らない初心者や子どもでも気軽にできるようルールを簡略化した「ふれあい囲碁」を楽しみました。

安田さんは、中学生がいじめを苦に自殺したという報道を契機に「一人でも多くの命を救いたい」との思いで、20年以上前からふれあい囲碁の普及活動を行っています。

教室には子どもから大人まで約30人が参加し、囲碁の対戦を楽しみました(写真上)。参加した小学生は「狙い通りにいかないこともあって難しかったけれどとても楽しかった。初めて会う人とも話すことができた」と感想を語ってくれました。

また、翌29日には認定こども園でも囲碁教室が開かれ、園児たちが囲碁に初挑戦しました(同下)。初めてながらも皆すぐにルールを覚え、仲良く対戦する姿が見られました。



表敬訪問

サッカー



川村凌叶さん(上中3年)「平成28年度北海道トレセンU-15秋季交流大会」に、道東ブロック代表として出場
◆結果: 5位

卓球



6名が「平成28年度北海道卓球選手権大会」に出場
◆結果:【ジュニアの部】鳥切さん1回戦、山崎さん・菅原さん2回戦、松岡さん3回戦、大野さん4回戦で敗退
【一般の部】千年さん3回戦で敗退

吹奏楽



上土幌高校吹奏楽部「第50回全道高等学校音楽発表大会」に出場 ◆結果: 吹奏楽部門で奨励賞

ソフトテニス



「第71回全十勝ソフトテニス選手権大会」にて、上小6年の西尾・長屋ペアが優勝、横内・飯島ペアは3位入賞

Topics of this month ● まちのわだい

上土幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲白熱した男子サッカーと女子バレー

10月12日(水)、体育大会が行われました。種目は昨年と同じサッカー、バレーボールの2種目でした。

今回男子サッカー優勝は2A、女子サッカー優勝は2B、男子バレーが3A、女子バレーが3B、そして総合優勝は3年生を押さえて2年B組が手にしました。体育委員長の山本稀一さん(3B)は「1年生は初めてで人数も少ないのに、団結力があってすごいと思うところがありました。自分は委員長なのであいさつや成績発表で緊張しました。また一部、要領が悪く準備が遅くなったところもありましたが、全体的には体育委員も積極的に早く行動することが出来ました」と体育大会を振り返りました。

総合優勝した2年B組のHR副会長の島田羽音さんは「みんな一生懸命に練習していて、その結果の総合優勝なのでとてもうれしいです。試合一つひとつにチームメイト全員が力を出し切れたおかげだと思います。試合中、一人ひとりが楽しそうにプレイをしていて、特に決めていないのにミスをしたら声を掛け合う姿があり良かったです」と優勝の喜びを語ってくれました。

10月12日(水)
体育大会が行われました

文責 早坂 悠咲

10/1 3年ぶりの「ふるさとを語る会」～札幌上土幌会総会～



上土幌町出身または過去在住したことのある方で、現在札幌圏に暮らす人たちの集まりである「札幌上土幌会(吉川留蔵会長、会員207名)」の総会が、札幌市のホテルポールスター札幌にて、3年ぶりに開催されました。

この日は、来賓を含め29人が出席し、久しぶりの再会を喜ぶ面々が多く見られ、交流を大いに楽しんでいました。総会では役員改選があり、新会長に上田静夫さん(荻ヶ岡出身)が選出されました。
※札幌上土幌会への加入に関するご相談は企画財政課企画担当(☎01564-2-4290)まで。

10/8 初の中学校開催、第25回生涯学習ラリー

第25回生涯学習ラリーが上土幌中学校で開催されました。今年は、例年会場としていた生涯学習センターが改築中のため、初めて中学校で開催されました。

中学校の各教室を利用して絵手紙づくりや缶バッジづくり、ネイチャークラフトなどのコーナーが用意され、子どもたちがさまざまな体験型学習を行いました。

リオ・パラリンピックでも話題になったブラインドサッカー体験も行われ、子どもたちは目の見えない状況に悪戦苦闘しながらも、仲間の声を頼りにプレーすることで、コミュニケーションの大切さを学んでいました。



10/12 難民の子どもたちに服を～上中「服のチカラプロジェクト」～



難民や被災した世界中の子どもたちに服を届けるユニクロの「届けよう、服のチカラ」プロジェクトに参加した上土幌中学校生徒会が、約3か月間の回収作業を終え、発送を完了しました。

昨年から取り組んでいる活動で、今回は段ボール箱17箱分の子ども服が集まりました。

生徒会の生徒たちは、「当初は集まるか心配したが予想以上に集まって良かった。中には『がんばってください』など、心温まる町民からのメッセージが添えられていたこともあり感激しました。皆様のご協力にとっても感謝しています。少しでも多くの子ども服が届けられたら」と話していました。

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。
企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ☐ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

平成28年 9月末現在の人口

男性	2,397人(-6人)
女性	2,511人(-8人)
人口	4,908人(-14人)
世帯数	2,436世帯(-11世帯)

災害見舞金のご報告 (9/27~10/17)

台風10号等の大雨被害に伴う災害見舞金を下記企業・団体様より頂戴いたしました。温かいご支援を賜り、深く感謝を申し上げます。

・全国町村議会議長会	3万円
・北海道町村議会議長会	1万円
・北海道町村会	3万円
・新栄クリエイト株式会社	50万円
・島原市消防団	3万円

寄付 (9/15~10/17)

⇒9月23日、浦臼町の吉田久美様が、福祉の振興のため(故・吉田久男様が生前お世話になったお礼として)、3万円を寄付されました。

⇒9月26日、ぬかびら源泉郷の湯元館(鷺北強)様および糠平温泉中村屋(中村健次)様が、観光の振興のため、現金を寄付されました。

平成28年度 ふるさと納税寄付金

9月分	5,366件 123,900,000円
累計	34,919件 617,688,234円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

川柳 短歌

台風の前報を聞きて雨水を溜めんと軒下桶を置きたり
台風に打ちのめされし十勝野に玉蜀黍は熟れて枯れにき
施設の車に農の道をゆく畑作のみどり豊に広がる
雨上がり青空広がり白雲のゆるやか浮くしばしながめり
どうにでもなれと思ふときまも陽は照らしぬる玻璃を
ひるも過ぎ今日いちには止む気配みせずにはほそく雨は降るなり

表情でドーパミン出し闊歩する
仮橋を渡って青空見る紅葉
栗のイガ道にココロ秋走る
一休さんボクも真ん中橋わたる
農作業終わってできたヒマばかり
冷える夜一年ぶりの毛布出し
気分転換何度も聴いてるモーツァルト
残りもの詰めて弁当持参の日
かくれんぼトレードマークで見つけられ
何ひとつ成し遂げられずもう晩秋
断捨離で思い切れない我が子の絵
議論から逃げてストレスから逃れ

白桜丹奈鈴松米小高米坂尾
石 後大木田森松木森田野
花昭喜 理博義誠真 いよし
馨絵次子豊恵樹美也弓子乃

本 高 石
間 木 川
栗 慶 裕
風 子 子

編集後記

⇒今年はおリンピックイヤーということもあり、スポーツの話題が多いように思います。特に、我々道民にとっては日本ハムファイターズの活躍がうれしいですね。この広報誌が皆さんのもとへ届くころには、きっと日本シリーズも佳境を迎えていることでしょう。目指すは2006年以後の日本一!がんばれ、ファイターズ!!...S

⇒寒くなったら、食べたくなるのが「鍋」ですね。家庭でもお店でも冬の定番メニュー!みんなであつくと、またよし!しかし、「鍋奉行」にはご注意ください。せっかくの鍋のひと時が台無しに...町(待ち)奉行や悪(灰汁)代官なんて人もいますが、とにかく鍋は楽しく美味しく食べましょう...K

発行予定 12月号は11月25日(金)

地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告 1

TITLE:さまざまな放課後の過ごし方 記:社会教育推進員 おおみち 大道 あゆ美

日々地域の皆さんに助けられながら、地域おこし協力隊の活動も2年目を迎えました。

今回は、私が担当している「放課後子ども対策事業」について報告させていただきます。今年度は、子どもたちにとってより親しみやすい活動となるように「放課後ほろんクラブ」として活動しています。昨年よりも実施回数を増やし、年間を通してさまざまなプログラムを放課後に実施しています。

9月には、上士幌小学校で「中国教室」と「石材教室」を実施しました。どちらも地域の方に講師を務めていただき、専門性のある学びの場となりました。萩ケ岡小学校では、9月から定期的に「ブラインドサッカー教室」を行っています。これはアイマスクを着けた状態で、ボールから出る音と声のコミュニケーションで行う5人制のサッカーです。目が見えない状況に悪戦苦闘の子どもたちでしたが、声を掛け合いながら懸命に取り組んでいました。糠平小学校では、12月から複数回にわたりサポートセンター白樺の皆さんの協力のもと「レザークラフト」に挑戦する予定です。

今後も子どもたちの興味や関心を高める体験活動を実施しながら、地域の皆さんにとっても自らの生涯学習を充実させる機会となるように活動していきたいです。



地域を変えていく新しい力 地域おこし協力隊活動報告 2

TITLE:上士幌町版ハローワークとは? 記:雇用対策推進員 よしむら ゆず 由村 柚子

上士幌町役場では、今年1月より無料職業紹介の事業が開始され、求人する町内企業と上士幌で働きたい方とのマッチングを応援しています。紹介所は上士幌町役場町民課の中に設置され、2名の職員が担当しています。

現在、33社がこの紹介所に登録しており、その中で26社が求人を行っています。求人の種類は正社員の募集が多くあり、新卒者の採用をしている企業も少なくありません。最近では、パート社員を強く求めている企業も増えており、企業の人を求める声は高まっています。

求職者においては、今までの相談者数は35名、うち10名の方が採用となっています。求人する企業の情報や求人内容などはWEBサイトでも掲載しているので町外の方からのお問い合わせもあり、多くの方が気軽に求人を知ることができる環境も整えています。

現在の大きな課題は、人を求める企業が多くあることに対して求職者とのマッチングがうまくいかないことだと感じています。この課題を乗り越えるには、この事業の知名度が必要です。町内はさることながら、町外・道外の方にもイベントや情報発信ツールをきっかけに知名度を広めていきたいです!

